

バストス週報

温室 52

第1494号
昭和五十年
十二月二十二日
月曜日出刊
Director
Kōiti Mori
Redator
Shōho
Miyatake
Rua, 10 de
Novembro 882
C. Post. 112
Fone 340
BASTOS
E. S. P.
Annual
Cr #
65.00
Adiant.

公労協のストに思う

去る十一月二十六日を起点として公労協のストが十二月五日まで、十日間の予告ではじまったが、政府が公労協へ公共企業労組協議会（の要求通りスト権を興えなければ目的貫徹ストをつづけるという大変なものである。この公労協を組織している勤務者は、国鉄、全電通、煙草専売、の三公社、郵政、林野、大蔵印刷局、造幣、アルコール専売の五現業で、何れも政府直屈の事業である。筋肉労働者だけでなく、事務に携わる者も居り、皆公務員たちである。かつてスト権を持っていたが、官吏乃至準官吏であるという理由でスト権を失ったが、組合を組織し、公認されているが、前記の期日以前に組合組織を通じて政府にスト権付與を申請していたものである。

○政府の見解では、民間企業でなく、政府直屈企業に、スト権を附與するのは違法であるという見解から、組合へ回答が遅れたため、組合側は予告通りストに突入したのである。

○一つおかしきことに、国鉄はスト権がないのに、これまで労組争議の一端に立って、これまで数回にわたり、賃上げ要求に成功して居る。こんど、それが三公社の一つとして各公社を連らねている魁を見ると、随分ルーズな話と思われ。且つ又、スト権のない三公社、五現業が実力を以って、スト権獲得しようとするのは、一種の暴力ではないかと思う。法を屈して議会で決定すべきものを、いさかり力で拵さそうとするのは違法である。と云って見たところ、取締り法規があるのか、ないのか。その辺新聞にも何の記述もないので判らぬが、警察庁あたりが何ら手を下さないと、法現が有いのじやあるまいか。とすると、何ともはや、日本の政治のおそまつ加減におそれ入ったものである。

○リンゴ一個盗んだとしても警察に引っぱられるのに、国の公共機関を勝手に停止し、何千万人の足を奪い、何億円の損害を及ぼしても警察司法方面で全然手が打てないというのは、どう考えても解らぬが、筆者の頭が呆けているのだろうか。

○かりに学校の教師がストを起して子弟の教育を放棄するとしたら、どうなるだろう。警察官のスト、病院のスト、消防隊のスト、自

HOTEL PRIMAVERA

ルアプレシテンテ ヴァルガス街二七一番地

ホテルプリマヴェーラ

森川悠一

電話 九二番



御結婚披露宴とお仕出しに
御家族づれの御食事に
御宴会と御会食に
日本料理とフランス料理
毎木曜日はフエッジョーダ
バストス各物惣料理

忘年会並に新年宴会は是非とも
当店へ御用命下さい。

○新隊のスト、彼らに組合がないからスト権もないが、労組組合を結成すれば、三煙草専売局の工員が全部ストに入れば、愛煙家が困るだけだが、国鉄となると一寸問題が大きい。全国主要幹線は皆国鉄に屈しているから、これらが汽車が動かないとすると、産業的に被るヒガイは莫大なるものである。

いつも、いつも国鉄のストが先頭に立って国民を苦しめているが、被害者たちは国鉄をうらみ憎んではいないのだから、世界中鉄道のあり方で、鉄道の従業員がストを止めて何か政府に要求する、というふうな事があれば、どういうストを許すものであろうか。工場や、バスのストは許されたことかあるか、郵政（郵便局を含むであろう）などもストが許されるとは到底考えられない。

○先進国ではどこでもスト権を許しているが、公労協側では声明しているが、にわかには信じがたい。

彼らかスト権を持った場合、民間企業と合流して春秋二回にわたるゼネストをやられて、いかなる政府も解決しようはあまい。彼らの勢力は政治と結びついて、いよいよ手のつけようのない、騒然たる村会を出現する

に列るであろう。年中労賃の争い、階級の争い、目を釣りに上げ、声を枯らして悪口の絶叫。一体日本はどうなるのか。

新聞で読む限りでは、不愉快な国日本という印象は強くなる一方だ。一時至急連年のデモでうるさかたが、迫頃はたいぶおさまったらしい。その代り、春斗、秋斗が抬頭して来た。いずれも野党の指導支援があるであろう。政権奪取のために見舞のない謀略である。

頭が古いせいか、日本のような、労働争議や階級斗争のないブラジルは、ほんとうによい国だと思ふ。○ここまで書いたら、十二月三日限り、ストは取りやめ、八日間の混乱はおさまったらしいが、結果は労組が暴力をふるっただけで、双方何の得るところもなかった。損害は誰かかぶるのか。

労組は偉力を充分發揮したが、目的達成までには、又拘りを見てストを決定する決心であるそうだが、こんな馬鹿げた暴力を座視してよいものか、法的に打つ手が無いということも、おかしな事であると思ふ。

続南伯俳句行脚記

1 佐々木南天子

十月六日の夕食は支那料理で満腹し、今朝南嶺及楊村、静かな町であった。(リオグランデ州とサンピネ春非常に上級嫌、たしか寝不足もあったと思ふ)夕カクリーナ州境を、リオネグロ川が流れている。が、物たりた思い頼。ポルトアレグレ市のウンブホ橋があり、その橋の真中に州境の立札が立っている。テルにて朝の六時に起床、七時にサンタカタリナ州のフロリアノポリスに向い出発との事、今日も又強行軍。皆時間を守り来る。空け曇り、又一と雨降りリ(ヘツツツ)の花盛り、又出発となる。今度はトリス市に向い行進、山間地帯に入る。ウンブの大樹(此の木はフィゲイラに似た大樹だ)森林地帯に抜きん出て見事なものであった。

見渡す限りの柿田にオーランタ牛が放されてい。水田は耕作されてもあらず、数千の牛の群がゆるゆると青草を噛んでいる。あちこちに水溜りがあり、白鷺が悠々と群を打している。(聞く処によると、最近此の水田に鱉が産生して、米作りを泣かすとの事、一作米を作つて、二年位牛に鱉を食わして、又耕作するのだと云っている。至って呑気な農法である。

私はこのよう打恵まれた米作地帯に、日本の農業技術を採り入れたら、どんなに米の増産が出来得る事だろうと思いつつ、行けども行けども湖と柿水田の国道を走る。

○白鷺や柿田の中の水溜り (念送) 一句が出来た。間もなくオゾーリ市に着く、此の町は米作地帯ではあるが、活気のない、至って仰

FLORA BASTOS
T. MORIMOTO & FILHOS LTDA.
Rua Duque de Caxias 524 C. Post. 171
Fone 29 BASTOS S.P.

養鶏不況時に備えて果樹園の造成を
品種の良い果樹苗を選びましょう。
農林省公認の、森元農場にて
改良種の苗をお求め下さい。
◎地ツソンを巡回しております。
蘭の苗、各地有名なラン園の良種を
取り寄せて安価で差上げて居ります
○花木一切、庭園、垣根、植林用樹等
松杉松、ツツジ、ツバキ、モミジ

森元苗木本舗

ラジオ日本語の放送
— アンデスの声 —
(さくら さくら)のメロデーに
ばじまる日本語の放送です
短波19メータ 及 25メータ
毎晩7時と8時半、各30分
番組.NHK 幸時ニュース、音楽、
民謡、童謡、講演、等
そのほか
バストス
福音ホーリネス教会

○ 賑りやウンブ大樹のカタリナ州 南天子
○ 牛放す柿田は二年牧となる

山間の国道はまた水田地帯、大湖に沿って走る。遙か地平線に白くトリス市の砂丘が見え出した。もう海が近いらしい、磯の香が車窓から鼻をつく。間もなく町に着く。昼食には未だ早いとのこと、燈台から海岸を見に行く。

大西洋の波は高く、漁船も少く燈台の高台からは、難破船が波を冠って涛を上げて居る。軍艦島(阿呆島に似た大型の島)が飛び交っていた。燈台の下に海に向って何神か祀つて居る祠があり、あたりに極楽鳥花が美麗に咲いている。砂の山が名の知りない花が真盛、前山南嶺がしきりに寫真をパチリパチリとやっている。
○ 海に向くサンタの像や海守の花 南天子

EXCURSÕES E VIAGENS TURISTICAS

EXPRESSO ADAMANTINA S/A
TRANSPORTADORA TURISTICA
EMBRATUR - 288 - S.P.

Representante em BASTOS
ITSUO MORISHIGUE

Duque de Caxias, 420 :- Fone: 200 e 461

エスプレッソ・アダマンチーナ

株式会社

バストス取次所

森 重 五 男

ルア ヅッケ デカシマス 四〇二番 電話二〇〇全四六一

○ ブラジルの最果ての海 海老を買う 南天子
一行は海辺を一廻りして町に戻る。此の町はシリタカタリーナ州の二千万頭の牛の略奪をポルトガル軍が策した事々、その他、佐藤清造氏のブラジル伝記に依る。

此のパラセホテルはユタヤ人が最近買ひ、また修理中のホテルで、風呂場も食堂も未完成で、さきも同様、車は平坦地を走っている。左右は山又山で石炭の出る山とのことで、あちこちに粉炭の山がある。鉄道の引込み線が敷かれている。珍らしいものたらしい。六日目の朝、強行と後不足の目をして集る。カブの町の高台に山の石を積んで建てられた、百五十年の歴史のある聖堂があり、仏乗花が花盛りだ。フロリアノポリスに向って行進する。午後四時頃見殺した所を一巡り、港まで来て、新らしく架けつ着。先ずホテルの予約してから町を一廻りする。海を背に兵舎があり、大砲が二門据えてある。

○ 大砲をすえて兵のサエミシ 南天子
○ 銭をうて童等露雨市場中
○ 海見ゆる段々街々露雨 中

海に向ったレストランテで夕食だ、皆よく飲み、よく食べる。旅の疲れを忘れてショップに酔い、カトルネづくりの毎日にも飽きずによく食う。工ビ、蟹橋を渡る。此処はレンタの手編で有名な村だ。一村牛、鶏、豚、皆んな食うこと、食うこと。宿はパラセホテルに泊ることにした。南の最果ての一夜、又特殊な木で作ったものに糸を巻き、器用な指先で最果ての海辺で遠くはなれたバストスを思いながうその木をあやつる。微かな音を立てて、木と木が触

○ ツリズモの団体旅行の
○ 御申込を歓迎いたします。
○ 新らしいオニブスで気持ちよい御旅行が楽しめます

○ 首都ブラジリア・イグアスーの滝
各地の温泉旅行・南伯地方観光
海岸地方観光・リオケンチ、カウタスノバ
その他、観光旅行には、何卒当社へ御用命をお願い上げます

おしらせ

野菜・トマトの歩合作者至急に求む

就労能力四・五名の家族を望みます。

◎ 条件

- ムタンナ費は耕主が立替え、住宅及農機具類は耕主側の負担とする。
- 肥料、農薬品は耕主と歩合作者双方の負担とする。
- 収益は諸雑費を差し引き利益を耕主と歩合作者と折半(アメイゴ)とする。

場所「カンピナス郡 モジニリン」

児童の通学 〓 五年生までは、二キロ半の処に小学校があります

五年以上に通学車用オニバスで市街地まで通う。

御希望の方は左記へ御連絡下さるか、出来得る限り御視察下さるか、通報社まで

Paulo Meguro % Fide Maryama, Rua 9 de Julho 416

13-810 - Conchal S.P.

PAULO MEGURO Conchal ou Moji Mirim

パウロ・黒

度びに音楽の様に見える。彼女等は五歳くらいの子に着く、何という処か忘れた。椰子の並木路を
 頃から、このレンダ編みをやらされることであ登りつめて海辺に行く。ブラジルの最果の国道だ、
 る。此の村は貧しい漁師村で、男共は漁に出る。主道かにニアルケール位の島が、岸から二キロ位の村
 婦や女子供たちは独特な歌を唄いながら、一日手をに風景よく、陸続きに道が島まで御念入である。
 休ませない。

○ レンテイラ村皆小家山笑う

南天子

涛吹きを上げて、不通となる。(聞く処に依ると、

このデンレイラ村の丘を越えれば海となる。波に此の島に南銀のクラブがあるとの事。南銀がブラジ
 乗って色の落し子が多沢居る。いかにも淋しい海で、ルの最果の島にクラブを持っているとは、実に頼も
 しい話だ。)

○ 砂山や千花万草の花野行く

南天子

此処も通り過ぎ、海浜国道をひたすら、戻り道、

○ 山鹿豆、こ花盛り大砂丘

〓

小さい漁村があり、又ひと気のたい小ぢな家が、ほ

戻りに土産物のレンダを買う。女流俳人や、男共程にイタジマイ市が南大西洋の浪打際にある小さな
 までレンダを買う。娘たちは奇麗だ。何代も前にホ 避暑地の都市とでもいつか、町はひっそりとして、
 ルトガル人や、土着民との混血娘等は愛想良くレン 入気なく、たまに見かけるパールに四、五人の人が
 タを売ってくれた。前山南嶺氏、その他もしきりに び、そりとのんきに話しているくらいで、至って
 シッターを押す。

今度は南の海に沿い、国道を走る。行く手に橋のると、町は人で満員になるとのことだ。
 ない海に出た。三菱口位の向に又サンタカタリーナ 又、此の決には、浜市場という砂浜に漁師が沖
 がある。青服の兵隊が渡場番人で、五十米四方で捕れた魚を船の上からビンビン跳ねる魚を売る。
 位の鉄舟でモートル付きだ。カミニオン・オニバス その魚を目掛けて軍艦鳥が群れて来るとの事で、
 十台は架に乗れる上等物だ。驚くなけれ、同乗三十非常に面白い風景であると思う。これも聞いた話で
 八人とオニバス一台、タッタヒクルゼーロス、今頃ある。 つづく

の世の中にこんな面白いものは、どこにもない。
 一人前の、オービセンターボ、誠に有難いことと同

大資本の養鶏進出

○三四年前の話だと思ふが、大洋漁業が海の不漁で遂に陸に上り、養鶏業を始めた。それが雑誌に写真入りで紹介してあったので、企業というものは、金儲けのためには、どんなことでもするんだと、感心したものだ。

日本の商社が海外貿易で大儲けをやり、金の置場に困って、新市場得にやっきとなり、ドツとばかりにブラッセルに進出した企業か大小合わせて四百余とある。

それから、すごいものである。これらの企業はそれぞれ独特なものをしているものが多いけれども、中

には企業同志で同業のものがあつたり、旧移民者の事業とぶつかり合うものもあるそうで、どういふ場合、進出大企業のため小企業では太刀打ち出来ず、涙をのんで敗退せねばならぬこともあるだろう。

どうかといつて業種を調べ、これは同業が既にあつたり立たなかつた。しかし主として工業方面に重点

の自由世界だとすれば、もう文句のつけようは無

いことになる。例えばスベルメルカードという百貨店がほとんど開店されつつあるが、これなど北米で

はじめで出来たものだというが、忽ち先進国に行き

わたり、日本など大都市には大資本のメルカードが開店して巨大な売り上げを見せ、従来の小さな店はほとんどつぶれかかる状態に追い込まれようとして

ブラッセルでも旧式の店舗を改装してメルカード式にして、何でもその店で用の足りる様な商法でなければならぬ様になつて来た。

サンパウロなどのような大都市になると、大きなメルカードが近くにあり、附近の小さな店は客足

に於ける一つの革命といふべき現象であり、

○今の処、商業方面だけに見られる現象だが、もと大企業は、個々の力では成り立つものでなく、株式による資金を収蔵しなければ、鉄道、運輸、製

鉄、船舶、鉱山、電力、石油、重工業などは、列強

がおかれ、百貨店、銀行などが傳かに商業金融面

でそれが大百貨店の成績に押されて小百貨店(スベルメルカード式)の乱立となり、普通経営の店舗は、特殊商業でない限り、運営に支障を来すよう

野菜歩合作者急募

仇手三・四人ある方を四家族ほど求めます

○条件

住宅・ムダンサ、農機具類の一切は耕主側の負担とします。(歩合作者は何も必要はありません。)

肥料・及び農薬品は、歩合作者と耕主の双方負担とします。

収入は諸雑費を差引いた純益は、双方折半(アメイア)とします。

場所カンピナス郊外

通学の便は小学校五年生までの学校は一キロ半の距離。

五年生以上は通学専用オニバスにて市街地の学校へ通う

○御希望の方はバストラス市の連絡所

吉川養鶏農機具製作所まで

カンピナス市西野勝昭

になつて来た。

○更に資本主義が農業方面にも進出して来るであろうか。勿論大豆や珈琲、桐材などの買付けは相当数量であるが、これは貿易に屈し、直接ブラジル農業への投資ではない。

数年来鶏卵の高位がつづく、いわゆる資本家が投資して大々的な採卵養鶏をやり、卵価が下がると手を引いてしまふ節義のない企業であった。今でもそれに近い養鶏家が時々あらわれるようである。

卵価の高低は、鶏卵の多寡によるのが原則であるが、時には要加人口の減少によることもあるようである。昨年から今年にかけて、アメリカ及びカナダでは急激に卵のサイズが悪くなったのは、鶏卵人口の減少からだとされている。

ブラジルでは現存の鶏卵の生産高と、需要高が大体均衡を保っている、ゆゑの点でもやや生産者に有利であるが、少しストックがたぶつくと、値下がりして生産者を暖かせる。

○もし大洋漁業のような例がブラジルに起つたらどうか、勿論市場調査をすれば、非なることが明白であるから無謀な事をする気遣はないが、もし拙劣の計画を樹て大投資を行えば、個々の養鶏家は手痛い衝撃を蒙らるだろう。

十年前養鶏景気がつづいた時、養鶏にあつた人々、世人を眩らしたこともあるが、ああいうばう儲けは以来あまり聞いたことがない。実際はいくら儲けがあるという魅力であつて、大儲けの事業蹟一となる、大資本の飛び入りがあつて、かえつてあつたがたくなつてあつた。

了 系 音

週報俳壇 第八回

十二月分 系 音 選

- あれこれと試めず薬草花アロ工 真木真水
- 岸釣リやけもの如く岩寝まる 〃
- 靈界の妻に黙祈十字星 〃
- シと樹西日の窓に影おとす 〃
- 姉葬る西日にたえて合掌す 本田たけ子
- 草取つて隣りは近くなりけり 〃
- 犬の子も猫も除ける甲虫 〃
- 夕ツい食い嘶鳴も食うて移民老ゆ 佐々木南子
- 繩煙草けすり願ける草取り女 〃
- ジャット機の尻の長々と西日空 〃
- ファベラに並ぶ西日の小窓かな 前山南領
- コロツテの水を吐き出す西日かな 〃



RAÇÃO DUTRA

ラズラズラ

パウリスダ地方代理店

前山商店飼料部

養鶏飼料販売部員

- 佐藤 豊
- 木口 常治
- 藤武 良郎

右の販売部員が夢上の節はよろしくお願ひ申し上げます

- 草取れば石乾け落つ谷深かく 宮崎比眠
- 夕ツい追う夕ツいの定に足とられ 〃
- 夕ツい編ビンの国に住み馴れし 梶山双樹
- 丸煮してバイマ料理の夕ツい鍋 〃
- 剃髪を了えて除草の鎌を研ぐ 大郎田去平
- 列なして西日溜りの屋台店 〃
- 階の西日に靴底こけること 本郎田去平
- 掘りかけレタツの穴あり大吠ゆる 〃
- すけ替えて鉄の柄軽し草をとる 宮崎比眠
- 草取りやナリリ力茂る庭店し 〃
- 草除りやコロツテの水も残さず 梶山米子
- 西日さす席とは知らぬ切符買つ 〃
- チリリかき除草すべなき庭となり 佐藤仙舟
- 西日さす厨に疲れ見せぬ妻 〃
- 傷つきし負け甲虫の主泣ける 佐藤耕雨
- 水かけて寝まる西日灼けの壁 〃
- 草除りや三度売られし日本狂 柳屋すわ
- 玻璃越しの西日を覗う厨ごと 〃
- 草取りに赤子待負いて後家とかや 送者

ブラジルに最初の足跡を印した人達

故 鈴木南樹翁の遺着から

(二十二)

金子保三郎は駿州豊橋の相当な金持ちの息子である。どういふ訳でブラジルへ来たか、親しい交際をしながら聞きわらした。明治四十一年ロンドンを経てブラジルにやって来た。テヂカ山県を尋ねたのは別に縁もゆかりもあつたわけでもないが、只漫然と山県の名声を聞いて、寄らば大木の下という風な考え方に過ぎなかつたらう。

山県の下には漆器製造の方に依つていたらしい。サンパウロにやつて来たのは何時頃か判然しないが、私と知り合ひになつたのは、フロレーヌ街（シルベラ、マルチン街）現在は取壊されて、アベニダ・ランチエール・ペスターナとなつてゐる辺りである。街に添うて半分破壊された不細工な板門戸があつて、その奥のたゞ一空に、宮崎信蔵と住んでゐた頃のことである。彼の頭は松茸紙の能登の守の如く、顔から丸く山形に禿つてゐた。性格もスーホで、何処か抜けて居る様な、それでなかなか抜けて居ない方であつた。

親切心があり、人の世話が好きである。何としても刺りきれない様な彼の性格の内には多量に山県的なものがある。妙に人を魅きつける力を持つてゐた。現在ビリグ牛町にアソゲをして成功してゐる。彼の如きは、金子に親の如く、主人の如く仕えて、蹴られても打たれても異存がなかつた。彼がおすえと同棲するに至つた経路の如き、最も著しい例である。

おすえは福島県人である。あの頃美人とされてゐた。第一回移民中の俊秀な青年、兼田信一郎は同県人でもあり、サンマルチンニ、耕地の通訳を鳴らしだ男であるが、おすえにぞつこん惚れてゐた。兼田の性格は乱暴で、おすえを強奪も仕兼ねまじき勢であつたが、おすえは勇として聞かず、金子に身を任せた。兼田は腹を立てて、金子の室に乱入し、頭を叩いたとかいふ噂があつたが、あの時代に敢然と兼田に對抗し、おすえを我がものにするだけの度胸を示したのは、金子なればこそである。

しかし金子には人一倍鈍点があり、弱々しい性質があつた。自分の恥を隠さずみへ出す様であるが、私が横疾を患つて、今アマゾンに居る戸田義雄が切開することに擧つた。戸田は大胆不敵な男で、どんな知らぬことでも、百年も経験した様なことを云う男である。恐らく戸田に取つてムーラを切開する方とは麻の緒を切つて始めてであつたらう。局部注射はやつたらしいが、金子は私の足を離すと支えている。戸田はメスを揮うといふのである。それがせて頂きたいものだ。

郵便局よりお知らせ

当郵便局では本年十二月十日より来年（一九七六年）の十二月十日までの就業時間は左の通りです。

- 毎月曜日 土曜日まで
 - 午前八時から十二時まで
 - 午後二時から午後六時まで
- せよし、ゆうびん
- 郵便局で保管してあります。

- 01 Kazunobi Matsumoto
- 02 Eiji Hishizawa
- 03 Shinshin Shida
- 04 Itiro Sono - Secão União 11
- 05 Tsuno Sono
- 06 Francisco Yoshioka
- 07 Toshio Sabo
- 08 Ritsuo Sono
- 09 Yoshio Oguma
- 10 Enzo Fujiyashiki
- 11 Chizuru Matsufuji
- 12 Tatsuo Tani
- 13 Kore Hatsuchi
- 14 Maria Matsushita
- 15 Kishiro Uramara
- 16 Mobji Ogawa
- 17 Luiza Satiko Koga
- 18 Minoru Nishizaka
- 19 Reizo Shirasu
- 20 Shideyuki Yasuda
- 21 Koiti Obayashi
- 22 Shuzo Saito
- 23 Kazuo Oguma
- 24 Kinburo Sei
- 25 Shigueishi Arima
- 26 Ivone Toshiko Shimizu
- 27 Jujio Nishikawa
- 28 Yutakan Sato
- 29 Joao Katsumi Sei
- 30 Naoharu Nagao
- 31 Nelson Kudo
- 32 Neusa Ikeda
- 33 Akitoshi Okuma
- 34 Renato Honshi Nakahara

大成功だったピアノ温習会

—豆ピアノニストに大好評—

去る十二月七日夜、綜合会館に於いてピアノの温習会が開催された。聴衆はあまり多かつたとは云えないが、関係者の家族以外は何れも音楽愛好家の集りであつた様だ。出演者の大半以上が幼児で、あんな小さい子供が、と心配して見ていたが、なかなかどうして、堂々たる演奏振りに万雷の拍手が湧いた。拍手に迎えられる演奏が終つて拍手に送られる豆ピアノニストは実に可愛い。モッサ達の演奏はもう玄人並みだ。費用もかかることだらうか、時々聴か

が力かなか終らない。手術に凡そ一時間近くはかか
ったろうが、私は平気であるが、金子は顔を蒼青に
してしまった。

「眼がくらみそうだし」といってひまろひまろした
ので、戸田はエーテルを彼の鼻面に持っていてか
かした位である。金子はそういう点もあった。輪湖
俊太郎は北平から知人の紹介状で、金子の前にやっ
て来たのである。日伯新聞の最初の計画は金子と輪
湖と私の三人で新聞を出そうという、漫然とした詩
があったのだが、私が田舎に流浪して居る間に、金
子と輪湖とが出したものである。輪湖の御都合主義
と輪湖術とは、卒直で飾り気のない金子と性格的に
合わず、別れた折、金子が

「是非何とかしてくれ」と私に頼むので、印刷以
外は一切口入れしないという条件の下に、一カ年間
日伯の仕事を手伝った。金子は実に器用な男で、一
時玩具製造もやれば、日伯の石版印刷も皆彼の工夫
に依って出来たものである。

一八十九年、活字を持って来ると云って帰国した
が、彼は活字と一緒に新妻を連れて来た。何か深い
事情があったらしいが、ブラジルには彼を

「金子さん、金子さん」

と呼んでいる、鎌田と争って長ち得たおすえ夫人
が待っていた。留守居を預って、日伯新聞を継続し
ていた鹿野久一郎などは、金子のために何処までも
片捧担ぐつもりでいたが、興をこまして直ちに日伯
新聞を出て行ってしまった。無論おすえとも別れた
りればならなかったが、それが人気を失なう暴を作
った。日伯新聞を三浦登に売らなければならなかつ
たのも其のためである。

金子は肺を病んで日本に引き上げたが、死んだと
云う者もあり、いや、まだ生きているという人もあ
るか、死んだというのが真実である。実に面白い男
であったが、惜しいことをしたのである。

「どうした、どうした」と声をかける癖のあった彼
の姿が、眼をつぶるとありありと浮んでくる。

(二十一)

竹内礼蔵は親の代から山県に仕えた奉公人である。
渡伯して山県の許に来たのは父の意でもあれば、
彼の希望でもあった。しかしブラジルの山県は最早
北海道の山県ではなかつた。第一北海道では竹内な
どは一寸山県には寄り付けなかつた。ブラジルでは
直面するので有難味も少くなる代り、自分の欠点す
く明るみに出易い。彼が山県から勘当を喰うのは
解りきった事である。仕方がないから彼はリオ市で
玩具の行商をはじめた。その振り出しには、誰も経
験することは「プリンケード」と云う、ふれ声の出
ないことである。止むを得ず彼は先ずボテキンに入
って、ピンガを一杯引、かけてから街頭に飛び出し

御 礼

一金一封也

右は去る十二月六日、栗田家の御婚に際し
些かお手伝いを致しました処、前記の御寄附
を頂戴致しました。紙上を以御礼申上げます

ウニオン区 婦人 会

栗 田 操 様

週報社よりお願い

毎週週を御愛読頂きまして有難うございます。
扱、今年(75)度の購読料未払いの方は、誠に恐縮
でございますが、町へ御用事の節、週報社の宮
武までお届け下さいますよう、勝手ながらお願
い申上げます。

バストス週報社

宮 武 勝 甫

た。そして酒の芳で減茶苦茶に酔って、
「プリンケード、プリンケード」
顔は真赤になるが、元米唄の好きな竹内の声は朗
々として、ブラジル人を惹き付けたという。まさか
この時のピンガが煮つて後年香助になって、アルコ
ール中毒に罹された訳でもなかつたが、とにかく彼
はピンガの勢いで、リオ市中を脱兎の如く駆け回っ
て走り歩いた。後に彼は今村、桶島などと同じく三
角ミナス米作地に入った。石橋の産業組合では産業
部長であった。石橋の代りに福川薩然が入り、同時
に彼はノロエステ線リンズにやっ来て来た。一九二〇
年である。丁度上塚と山根が共同して、コマンペー
の所謂上塚第二植民地を売り出していた時だったので、
竹内は其の下に働いた。例の通り金があれば飲むと
云う流儀で、如何なる場合にも一文無しである。其
の朝惠夫人は三角ミナスにあつて、彼の送金を待た
せていたが、何時迄たつても其の約定が実現されな
いので、一家のノロエステ移転が出来なかつた。し
かし朝惠夫人は如何なる場合にでも、
「宅の夫は偉い男である」
と信じて疑わなかつた。これは後になつても同じ
ことで、朝惠夫人は飯令どの様に竹内から困難を目
に逢わされても、「竹内は偉い」という信念を失わ
ず泰然としていた。

口の悪い人は、夫人は余りに人が善良過ぎると云ったが、とにかくそれほどまでに信ぜしめる竹内の何処かに、人並みならぬ偉い点があったという外はない。

彼は、ゴヤンペーの土地売りの關係を断つたが、断られたか、それは知らないが、關係がなくなる、リンズで土地売りもすれば、係争の解決、借金の取り立てという風に、いわゆる「何でも屋」を始めた。後には三百専門のようになってしまった。何時も酒ひたりで、事件の解決は、だらしない長引くが元来、柄が善良な方で、頭が低いので誰にも愛された。鈴木が「長よし衣箱」の朝から晩までビールを飲んでゐる。誰か飲ませるのか知らないが、一日に恐らく三グラス位は毎日飲み通したという話である。あれ位ビールを飲んだ人は、ブラジルの日本人には無いと云つても過言ではなからう。中風になつてからはビールを止めたと聞いたが、それから二年位しか生きられなかつた。死をみると、或は好きなものを飲みつづけた方がよかつたかも知れない。

ビールを飲んでのんで、何時も、アルコール中毒者に特有な色も顔もトマテのようにして、「ウへ、ウへ、ウへ、ー、ー」鼻にかかる笑い声を出してゐるので、くうたら平に見えるが、リンズでは、竹内礼蔵と云えば知らぬ者なく、無くてはならない存在になつてゐた。好漢もし酒をつつし、大量を發揮するところを得ば、独りリンズのみならず、ノ口工ステ全線中に於いても、押しも押されぬ竹内礼蔵となり得たであらう。彼の亡くなつたのは昭和十二年であつたと思ふ。彼の偉大を信じて疑わなかつた朝恵夫人は再婚したが、恵まれずして、一昨年頃此の世を去つた。

コチア組合シールド イナウグランソ

去る十二月十四日午前十一時より、グロリア街道入口にかねて建設中であつたコチア組合の大シールドのイナウグランソが挙行された。コチア聖市本部より役員多数来席された。

バズンジですか

◎ 前の車がとまっても安全な車間距離は—
60キロで28メートル、40キロで15メートル以上、
雨の日はこの1.5倍、日本のように雪の日だと
二位以上だという。80キロでは100メートル以上。

店員至急に求む

薬局で働く青年、少年を
至急に求めます。希望者は薬局
までおいで下さい

板垣薬局

電話 三九番

三サ御通知

来る一月三日午後七時半、イグレーシャ、サンフランシスコ、シヤ、ピエルに於て、
「故 小林 茂 三回忌三サ」を
捧げたいと思ひますので、生前御厚誼を賜わり
ました尊知各位の御列席頂ければ幸甚と存じ、
謹んで御通申上げます。

知友 各位様
小林 家一同

バストス明老会

去る十二月 日つさみ食堂に於て
バストス老人クラブ結成の相談会が
あり、いよいよ来年一月二十五日
に総合会館に於て「バストス明老会」
の発会式を挙げることに決定した。

会員は七十歳以上の男女老人とし
、世話役は六十五歳以上の若年寄
で、当分は娯楽慰安を主とし、追々
老人クラブの本質的な方針に向い進む
方針の善、
尚発会式には余興として、日本舞踊の
披露もある。

会費は一切受けぬ方針である
尚くわしいことは次号に発表
バストス 明老会世話役



CAIADO PNEUS S.A.

Praça Da Bandeira 37 Fone 2103 TUPÃ S.P.
PNEUS. CÂMARAS. ENCRADOS RODAS E ACESSORIOS

SP. カイアド・ pneus

サンボン電話二一〇三番

サンボン市プラサダバンデイラニヒ

供中

御利用ねかいます。安価提

子を販売奉仕中です

アッセンリーリオス等

ローダス

エンセラードス

カマラス

ペネウス

好条件販売中

NOSSA RELOJOARIA

TAKAMI SHIBATA Rua Ad. Barros 213, Fone 154

柴田時計店

電話 一五四番

アマルデバールロス街二一三番
レロジョアリアタカミ

豊富に揃っております

卒業、入学祝、記念品等

皆様をお待ちして居ります

いろいろ珍らしいものが

下さい

夕食後涼みがてらに御来店

多量に入荷致しました

年末年始のプレゼント用品

夜間営業中

年末大売出し

Aviso de Cine Pastos

十二月二十一日(日)九時半 二十二日(月)八時
東映 総天 然色
怪談 渡瀬恒彦
松竹 然色
怪談 衣川環世
十二月二十三日(火)二十四日(水) 両夜とも八時
東映 総天 然色
傷だらけの人生 石橋雅史
松竹 然色
怪談 大木実
十二月二十六日(金)二十七日(土)九時半
松竹 然色
怪談 八代夕智子
十二月二十八日(日)九時半 二十九日(月)八時 監督 青森耕一
東宝 然色
無宿 梶芽衣子 高倉健
十二月三十日(火)三十一日(水) 両夜共八時 今井正監督
東映 総天 然色
海軍特別少年兵 北井武男 小川真由美 荒木道子
天竺色
その時彼らは十四歳ノ太平洋戦争最大ノ決戦地硫黄島に散った幻ノ少年三千八百名B-15ミッドス第六戦隊ノ
一月一日(水)九時半 二日(金)八時 三日(土)九時半 監督 山下耕作
東映 総天 然色
決戦航空隊 鶴田浩二 松方弘樹 中村玉緒
小林 旭 渡瀬恒彦 池部良
比大路欣也 西條美樹 菅原文太
第二次大戦のライマンズ、特攻隊を止画して決行させた男大西中将は何に賭けたか、世界戦史に類を見ない特攻隊作戦、これはどんか、

十二月二十八日(日)九時半 二十九日(月)八時 監督 青森耕一

無宿

梶芽衣子 高倉健

怪談残酷物語

川津祐介 賀川雪絵 金子信雄
川口小枝 戸浦六宏

傷だらけの人生

待田京介 藤山寛美
工藤昭子 若山富三郎

この道はどこの道か、男は何で戦をするのか、女の心はどこの心か、

十二月二十三日(火)二十四日(水) 両夜とも八時
東映 総天 然色
傷だらけの人生 石橋雅史
松竹 然色
怪談 大木実

沢路 奇
山城新伍
大木実

監督 長谷和夫

春川雪子

賀川雪絵

戸浦六宏

金子信雄

監督 青森耕一

梶芽衣子

高倉健

監督 今井正

北井武男

小川真由美

荒木道子

三国連太郎

監督 山下耕作

鶴田浩二

松方弘樹

中村玉緒

池部良

菅原文太

西條美樹

比大路欣也

小林 旭

渡瀬恒彦

池部良

菅原文太

監督 今井正

北井武男

小川真由美

荒木道子

三国連太郎

監督 山下耕作

鶴田浩二

松方弘樹

中村玉緒

池部良

菅原文太

西條美樹

比大路欣也

小林 旭

渡瀬恒彦

池部良

菅原文太

西條美樹

比大路欣也

小林 旭

渡瀬恒彦

池部良

菅原文太

西條美樹

比大路欣也

小林 旭

渡瀬恒彦

池部良

菅原文太

西條美樹